



この度、緩和ケアチームでは日々の活動状況や実績、また新しい緩和ケアに関する薬剤や研修などのご案内、最新の情報などをお知らせする『緩和ケアチームNews Letter』を発行することになりました。発行は2～3ヶ月毎の予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

## 「患者サロン」6/18より開設します！

「がん患者サロン」とは、当事者同士が話をしたり聴いたりして体験を共有し、ともに考えることで、安らぎを得たり、不安や孤独感を軽減したりすることができる、有効な患者サポートです。がん診療連携拠点病院の整備指針においても「がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合う場を設けることが望ましい」とされています。

当センターでは『**やまゆりサロン**』として患者サロンを開設します。



日時：毎月第3木曜日  
14：00～15：30  
場所：手術棟3階講堂前ロビー  
参加条件：当院の患者  
(家族は付き添いのみ)  
運営主体：がん相談支援室

患者サロンに関するお問い合わせや、  
**入院患者が参加希望時は、**  
PHS：7481渋谷まで連絡ください

院内掲示用ポスター

## がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会開催

厚生労働省は、平成29年6月までに、がん診療連携拠点病院における施設に所属する

- ①医師「がん診療において、がん患者の主治医や担当医となるもの」の9割以上の受講完了
- ②初期臨床研修2年目から初期臨床研修終了後3年目までのすべての医師の受講完了を求めています。

当センターでは  
**2014年度より緩和ケア研修会を年2回開催しています**  
今年度の開催は以下を予定日とし調整中です。

- 第1回 2015年9月26（土）、27日（日）  
第2回 開催日最終決定しだい再度お知らせします

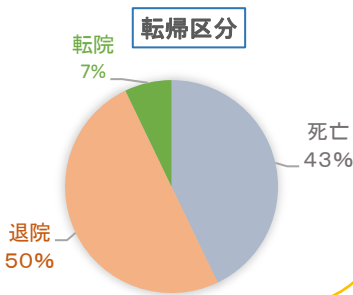
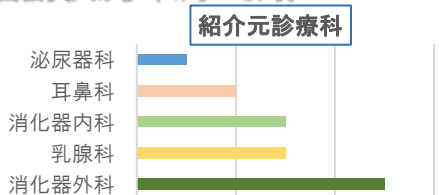
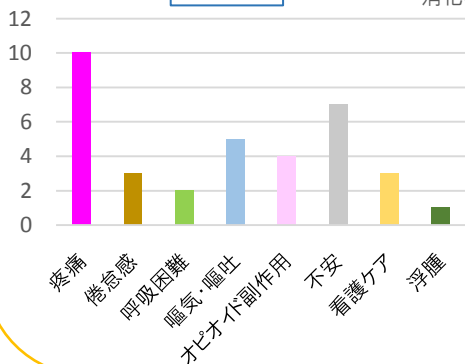
## 院内採用のお知らせ

【**アブストラル舌下錠：200μg錠**】アブストラル®は、舌下投与によるフェンタニルのレスキュー製剤です。症状に応じて1回100μgから開始し、1段階ずつ適宜調節し至適用量を決定します。当センターでは、昨年より100μg錠が採用されましたが、1回のレスキューが200μg以上必要な患者もいます。そのため、今年4月より200μg錠も院内採用となりました。200μg錠採用により1回の使用錠数を減らすことができ、患者の負担も軽減されます。また1回の使用上限量800μgも使用可能となりました。（\*使用方法や質問がある場合は緩和ケアチームへご連絡ください）

## 緩和ケアチーム活動状況（4月～5月）

	4月	5月	累計
依頼件数	10	4	14

依頼内容



## チームメンバー

『**がん**と診断された時からの緩和ケア』の提供ができるようサポートしたいと思います。お気軽にご相談ください。

- 身体症状担当の医師（岩瀬 理）  
精神症状担当の医師（川嶋 新二）  
緩和ケア認定看護師（下村 陽子）  
緩和ケア認定看護師（福島 里子）  
薬剤師（輿石 徹・片上由季子）  
臨床心理士（渋谷 弘子）  
作業療法士（富田 千尋）  
言語聴覚士（新美 拓穂）

